※令和４年度以降入学生用

学校番号	3011

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	現代高等保健体育ノート　（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・安全な社会生活を送るうえで必要な知識について理解する。
・各ライフステージにおける健康問題について理解しよう。
・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について学ぶ。
・地域で行われている様々な保健活動や対策について理解を深める。
・わたしたちを取り巻く環境がどのように健康に影響するのかを学ぶ。
・多くの生徒が社会人として巣立つ本校において、労働と健康のかかわりを理解させる。

２　学習の到達目標

・事故の発生要因とその対策、安全な社会の形成のための行動や取り組みについて説明できるようになる。
・健康的な社会生活を送るために、各段階での健康問題を理解できるようになる。
・身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について考えることができるようになる。
・将来において地域における保健医療制度を活用できるように正しく理解する。
・働くことと健康の結びつきを理解するとともに、健康づくりの重要性を再認識する。
・心と体を一体としてとらえ、健康・安全について総合的に理解する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表現することができる。	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	安全な社会生活	事故の現状と発生要因	a:・事故の実態と被害の実態について説明できる。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる。 b:・自転車事故など､平素の生活と密着した問題について，自身や社会の課題の解決方法などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明できる。 c:・事故の現状や発生要因について，自身の経験や見聞きしたことと絡めながら、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト 定期テスト等	確認テスト 定期テスト等	ワークシート 観察等
		安全な社会の形成 交通における安全	a:・事故・事件や災害の危険予測、危険回避のための行動選択のあり方を理解している。 過去の災害の実例から、正常性バイアスや多数派同調整バイアスと避難行動との関連を発見し、自分自身の安全を確保するための行動について考えることができる。 ・事故や災害が発生した場合には、自助と共助による行動がとれる心構えができるようになる。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる。 ・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。交通事故における責任を３つに分けて説明できる。 b:・安全な社会づくり、交通事故のない社会づくりには、われわれ一人ひとりの意識や取り組みが不可欠であることについて、発言したり記述したりできる。 c:・事故や災害から自他ともに守ることのできる社会の形成について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト 定期テスト等	確認テスト 定期テスト等	ワークシート 観察等
		応急手当の意義とその基本	a:・応急手当の意義とその手順について説明できるようになる。また、傷病者を発見したときに、すすんで適切な応急手当をするために必要なことは何かについて、実際を想定しながら話し合うことができる。 ・熱中症の起こるメカニズムと、危険性について説明できる。 ・心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。実習では、手順にしたがって、適切に心肺蘇生法を行うことが	確認テスト 定期テスト等	確認テスト 定期テスト等	ワークシート 観察等

※令和４年度以降入学生用

		日常的な応急手当	できる。 b:・けがに応じた応急手当の方法を理解したうえで、実際を想定した実習を行い、互いに技能を評価しあう。 c:・ダミーを使用して、実際に近い形で胸骨圧迫と、AEDの使用法を実習し、互いに技能を評価しあい、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト 定期テスト等	確認テスト 定期テスト等	ワークシート 観察等
		心肺蘇生法		確認テスト 定期テスト等	確認テスト 定期テスト等	ワークシート 観察等
	生涯を通じる健康	ライフステージと健康	a:・生涯の各段階をライフステージとしてとらえ、各ステージによって健康課題が変化していくことを理解し、例をあげて記述することができる。 b:・各ライフステージにおける健康課題について、また、社会からの支援について、身近な人などを例にして考え、自他や社会の課題を発見している。 c:・ライフステージと健康課題について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト 定期テスト等	確認テスト 定期テスト等	ワークシート 観察等
		思春期と健康	a:・思春期における体の変化を、女性と男性それぞれについて理解し、説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげて説明することができる。 ・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。 b:・女性の性周期について、排卵と月経、基礎体温を関連づけて説明することができるようになる。 ・思春期の健康課題に関して、どう向き合い対処すべきか、また、どのようなサポートを周囲から受けることができるかについて、考えることができるようになる。 c:・思春期の健康課題について、正確な知識を得るための姿勢を持ち、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト 定期テスト等	確認テスト 定期テスト等	ワークシート 観察等
		性意識と性行動の選択		確認テスト 定期テスト等	確認テスト 定期テスト等	ワークシート 観察等
２学期		妊娠・出産と健康	a.:・受精・妊娠・出産のメカニズムと、それぞれの課程における健康課題について理解し、説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげて説明したり記述したりできる。 b:・妊娠の可能性のある女性が胎児の成長や健康のためにどのようなことを配慮すべきか，また、妊娠中や出産前	確認テスト 定期テスト等	確認テスト 定期テスト等	ワークシート 観察等

※令和４年度以降入学生用

			後の女性の精神的なサポートについて考えることがきる。 ・安全な出産・育児をするために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 c:・妊娠・出産と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト 定期テスト等	確認テスト 定期テスト等	ワークシート 観察等
		避妊法と人工妊娠中絶	a:・家族計画の意義と適切な避妊法について、理解し説明できる。 ・避妊は、男女がともに考える必要のある重要な問題であるということを理解し、説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。 b:・避妊は、互いの人権と生命の尊重にかかわる重要な問題であることを理解し、自身のこれからの生き方、行動につながる説明ができる。 c:・家族計画と避妊の重要性と人工妊娠中絶の弊害について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト 定期テスト等	確認テスト 定期テスト等	ワークシート 観察等
		結婚生活と健康	a:・心身の発達が結婚生活の基盤となることを理解し説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。 ・DV や児童虐待の問題とその支援のあり方について知り、説明できる。 b:・近年の結婚観は多様化していることについて、理解している。 ・心身ともに健康的な結婚生活を送るためにはどのようなことが必要か考えることができる。 c:・結婚生活と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト 定期テスト等	確認テスト 定期テスト等	ワークシート 観察等
		中高年期と健康	a:・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 ・中高年期の健康は、若いころからの生活習慣に左右されるということを理解し説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的取り組みについて、例をあげて説明できる。 ・健康寿命を延ばすことの重要性を理解している。 b:・健康的な中高年期を迎えるために、高校生のころからできることはどのようなことかを考えて、実践していくことができる。 ・健康寿命を延ばすことは、個人の問題であるとともに、社会全体の問題であるということを説明できる。 c:・高齢者の健康について、課題の解決に向けた学習に主	確認テスト定期テスト等	確認テスト定期テスト等	ワークシート観察等

※令和４年度以降入学生用

			体的に取り組もうとしている。			
		働くことと健康	a:・働くことの意義と健康とのかかわりについて、理解し説明できる。 ・現代の働き方や働く人の健康問題の変化について、説明できる。 b:・生きがい、自己実現、ストレス、ワーク・ライフ・バランスといったキーワードから、働くことと健康とのかかわりをよく理解し、自分自身のこととととらえて考えることができる。 ・長時間の過重な労働による過労死や過労自殺の問題について、本人や家族、友人の立場に立って考えることができる。 c:・働くことと健康の問題について、自身の問題としてとらえ、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト定期テスト等	確認テスト定期テスト等	
		労働災害と健康	a;・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要な安全管理と健康管理について理解し、説明できる。 ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について例をあげて説明できる。 b;・労働災害には必ず原因があり、防止策があることをノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 ・職場における健康増進支援活動、メンタルヘルスケア、ハラスメント対策などについて知り、自身の働く職場のイメージと重ね合わせて問題意識が持てている。 c;・自分自身が高校卒業後、直面することになる労働の諸問題について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト定期テスト等	確認テスト定期テスト等	ワークシート観察等
		健健康的な職業生活		確認テスト定期テスト等	確認テスト定期テスト等	ワークシート観察等

※令和４年度以降入学生用

3学期	健康を支える環境づくり	大気汚染と健康	a;・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生の仕組みについて理解し、説明できる。 b;・大気にかかわる、さまざまな地球規模の問題について、地球と人類の歴史の視点に立って考えることができる。 ・地球温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊などは、どこかで起こっていることではなく、我々一人ひとりの生活がもたらすものであることを理解し、その対策を生活の中に見出し、わせて望ましい行動がとれるようになる。 ・水質汚濁や土壌汚染についても、自分の生活の中で、防ぐためにできることを考えて、行動できるようになる。 c;・近代的な、豊かで便利な生活は、地球環境を激しく破壊してきたことによってもたらされたということを、社会のあり方だけでなく、自分自身の問題として、学習に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト 定期テスト等	確認テスト 定期テスト等	ワークシート 観察等
		水質汚濁、土壌汚染と健康		確認テスト 定期テスト等	確認テスト 定期テスト等	ワークシート 観察等
		ごみの処理と上下水道の整備	a;・ごみの処理の現状やその問題について説明できる。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題について理解し、説明できる。 b;・ごみ処理の問題は、自分たちの生活に密着した問題であり、自らの問題としてとらえて考えている。 ・循環型社会の実現にむけて、自ら行動できる。 ・安全で良質な水を確保するための取り組みに、自分たちにできることは何かを考え、行動できるようになる。 c;・ごみの処理と安全な水の確保について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト定期テスト等	確認テスト定期テスト等	ワークシート 観察等
		医療サービスとその活用	a;・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・さまざまな医療機関の役割と、効果的な医療サービスの受け方について理解し、説明できる。 b;・脳死と臓器移植の問題について、医療の面、倫理面など、さまざまな角度から自分の考えを整理し、ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明できる。 ・医療費と医療保険にかんする現代の課題と、望ましい医療の受け方について、社会の問題としてとらえて考えることができる。 c;・安心して医療サービスを受けるには、我々の側にも心	確認テスト定期テスト等	確認テスト定期テスト等	ワークシート 観察等

※令和４年度以降入学生用

			がけなければならないことがあることに気づき、医療の諸問題について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			
		医薬品の制度とその活用	a;・医薬品の種類と正しい使用法について説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて、例をあげて説明できる。 b;・医薬品の役割や種類について、また、望ましい使い方について、ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 ・医薬品は、われわれの持っている自然治癒力の働きを助けるためのものであることを説明できる。 ・医薬品の主作用と副作用、薬害について知り、われわれ自身の問題として考えることができている。 c;・医薬品の安全性をめぐる諸問題について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト定期テスト等	確認テスト定期テスト等	ワークシート観察等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度